

未来を見据えた環境づくり

～ポテンシャルを発揮し、未来を切り拓く～

エネルギーや経済安全保障への貢献に向けて、広大な大地、豊かな自然環境や食など本道が有するポテンシャルを最大限発揮するため、DXやGXの推進を図り、デジタル産業の集積促進やゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を加速するなど、本道経済の成長を牽引する産業振興に取り組みます。

■ 未来に挑戦するデジタル産業の集積

次世代半導体やデータセンターなどデジタル産業の集積を促進するとともに、本道での未来技術の実証実験を支援します。

(政策展開の方向性)

次世代半導体の製造に加え、研究や人材育成等が一体となった複合拠点の実現に向けて取り組みます。また、これらを核とした関連産業の振興やデジタル人材拠点の形成に向けた取組を推進するとともに、再生可能エネルギーを活用するデータセンターの誘致による北海道データセンターパークの創出に取り組むなど、本道へのデジタル産業の集積を図ります。未来技術関連のワンストップ窓口を設置し、本道をテストフィールドとした先駆的な実証実験の支援や情報発信に取り組みます。

■ 本道の強みを活かした成長産業の振興

宇宙産業などの投資を呼び込むとともに、スタートアップの促進など本道の発展を牽引する産業の振興に取り組みます。

(政策展開の方向性)

北海道スペースポートをはじめ地域の取組の支援や新規参入の促進など今後の成長が期待される宇宙産業の振興に取り組みます。また、バイオ、健康長寿などの成長産業や裾野の広いものづくり産業の振興、道内企業の海外展開の促進に取り組むとともに、本社機能やサテライトオフィスの誘致をはじめ、本道の優位性を活かし、国内外からの投資促進にトップセールスにより取り組みます。スタートアップの促進など未来に果敢に挑戦する人や企業の支援を強化します。

(参考) GX：化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと、Green Transformationの略

未来を見据えた環境づくり

～ポテンシャルを発揮し、未来を切り拓く～

■ ゼロカーボン北海道の実現

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、ゼロカーボン北海道推進条例を推進し、環境と経済の好循環に取り組みます。

(政策展開の方向性)

ゼロカーボン北海道の推進に向けた基金を設置し、中長期的な視点で地域づくりや人材の育成などに取り組みます。また、アプリを活用した排出量に見える化やものづくり産業など中小・小規模事業者の脱炭素化、次世代自動車の普及、建物の再生可能エネルギー導入や省エネ化の促進に取り組みます。森林の循環利用、農地やブルーカーボンの利用を促進するなどJクレジット制度も活用した農林水産分野の吸収源対策に取り組みます。

■ 未来へつなぐエネルギーの活用

本道が有する豊富な再生可能エネルギーの活用を加速するとともに、ゼロカーボン北海道を担う産業の振興を図ります。

(政策展開の方向性)

高いポテンシャルを持つ洋上風力の整備に向け、道内での促進区域や基地港湾の指定を目指した取組を進めます。また、エネルギー効率の向上に資するメイドイン北海道の次世代半導体の実現に向けて取組み、グリーン水素をはじめCCUSなど新たな技術の活用、バイオマスや太陽光発電など地域の再生可能エネルギーの活用を加速しながら、ゼロカーボン北海道を担う産業の振興を図り、我が国のエネルギーミックスの実現に貢献します。原発は、安全性が確保されることが大前提であり、再稼働については原子力安全規制委員会の厳正な審査を踏まえ総合的に判断します。

■ スマートライフ・スマート産業の推進

未来技術の生活への導入に取り組むとともに、企業のDXやデジタル人材の育成などを推進します。

(政策展開の方向性)

自動車の自動運転の実用化に向けて取り組むとともに、空飛ぶクルマの活用可能性を検討するなど移動の利便性向上を促進します。また、ドローンフィールド北海道として、ドローンサミットの誘致や積雪寒冷条件下での利用促進に取り組むとともに、物流や防災など多様な分野での活用を促進します。デジタルを活用した社会資本整備や中小・小規模事業者のデジタル化を促進します。地域のDXをけん引するデジタル人材の育成に向けて、セミナーや学習支援などを実施するとともに、人材ネットワークの拡大に取り組みます。

(参考) Jクレジット制度：CO₂等の排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度／促進区域：要件に適合した一般海域内の区域のことで、洋上風力発電事業の実施のために指定され、その区域内では最大30年間の占用許可を事業者は得ることができる／基地港湾：海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾のこと／グリーン水素：再生可能エネルギーなどを使って、製造工程においてもCO₂を排出せずにつくられた水素のこと／CCUS：CO₂を分離・貯留・利用する取組、Carbon dioxide Capture, Utilization and Storageの略／空飛ぶクルマ：電動・自動運転・垂直離着陸が可能な新たな交通手段として期待される次世代の航空移動手段

未来を見据えた環境づくり

～ポテンシャルを発揮し、未来を切り拓く～

■ デジタルとエネルギーの道の整備促進

北海道の発展を支える新たなインフラとして海底光ケーブルと送電ケーブルの整備を促進します。

(政策展開の方向性)

デジタル化やエネルギーの確保、脱炭素化への取組は、これからの社会経済活動に不可欠であり、未来に向けて大きな変革をもたらし、北海道の価値を高めていく原動力となります。これらの取組を支える重要なインフラとなる北海道と本州を結ぶ海底光ケーブルと海底送電ケーブルの整備促進とともに、国際海底光ケーブルの本道への陸揚げの誘致に向けて取り組めます。

未来が輝く価値づくり ～北海道価値の総合力で世界と勝負～

アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023など本道がこれから大きな好機を迎える中、コロナ禍からの回復を確かなものとしながら、食や観光、自然、スポーツ、アイヌ文化など多彩な北海道の価値を高めていきます。

■ 北海道観光の復活と飛躍

道民の旅行需要を喚起するとともに、アジアや欧米など国内外からの誘客に戦略的に取り組みます。

(政策展開の方向性)

道民の旅行需要の喚起や国内への情報発信を強化するとともに、アジアはもとより、欧米市場の開拓など外国人観光客の戦略的な誘客活動や国際航空路線の誘致に取り組みます。北海道観光の復活と飛躍に向けて、クロスメディアを活用しながら、トップセールスに積極的に取り組みます。

■ 世界を魅了する観光体験の創出

観光の付加価値を高めるアドベンチャートラベルをはじめ、アイヌ文化や世界遺産など多彩な魅力を体験できる観光を推進します。

(政策展開の方向性)

アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023の開催を契機に、機運醸成やコンテンツの磨き上げ、質の高いガイドの育成などに取り組みます。また、アイヌ文化や北海道・北東北の縄文遺跡群世界文化遺産、知床世界自然遺産や国立・国定公園など本道の魅力をめぐる周遊体験型の観光を推進するとともに、新たな道立公園の整備や民間のノウハウの活用など魅力向上に向けて取り組みます。

■ 満足度の高い観光地づくり

スマートツーリズムを推進するとともに、ワインツーリズムやMICEなど、多様なニーズを満たす観光地づくりなどに取り組みます。

(政策展開の方向性)

観光アプリや顔認証などデジタル技術を取り入れたスマートツーリズムを推進します。また、サイクルツーリズムやユニバーサルツーリズム、農村ツーリズム、離島ツーリズム、ワインツーリズムなど多様なニーズを満たす観光地づくりを加速するとともに、MICEによる地域経済の活性化や新たなインバウンドの取り込みなどを進めます。魅力ある観光地づくりを進めていくための新たな財源確保の検討に取り組みます。

(参考) アドベンチャートラベル：アクティビティ、自然、異文化体験の3要件のうち、2つ以上を含む旅行形態、世界市場規模は70兆円を超えられている

未来が輝く価値づくり ～北海道価値の総合力で世界と勝負～

■ 食の輸出拡大と魅力発信拠点の強化・拡大

食の輸出拡大に向けて取組を加速するとともに、どさんこプラザの全国展開や情報発信などの拠点機能の強化に取り組みます。

(政策展開の方向性)

新たな食の輸出拡大戦略を策定し、品目の拡大や新たな販路の開拓、輸出体制の構築を促進するなど更なる輸出拡大に向けて取り組みます。また、運営者との連携を一層強化しながら、どさんこプラザの全国展開に戦略的に取り組むとともに、国内外における情報発信やマーケティング拠点としての機能強化を図ります。高校生が開発した商品の販売をどさんこプラザなどで支援するとともに、商品開発やブランド化を推進します。

■ 食の新たな可能性の創出と消費拡大の促進

新たな戦略品目を含め、道産品の消費拡大チャレンジの展開など消費や販路拡大に取り組むとともに、食育や木育を推進します。

(政策展開の方向性)

米や小麦、乳製品など主力道産品の様々な消費拡大チャレンジを展開するなど消費の拡大に向けて取り組みます。また、落花生やにんにく、さつまいも、マイワシ、ニシン、ブリなどの新たな戦略品目の消費や販路の拡大に取り組めます。子どもの頃からふるさと北海道に親しむ心を育てる食育や木育を推進します。

■ 北海道ブランドの磨き上げと発信

道産品のさらなるブランド化を図りながら、生産振興や魅力発信に取り組みます。

(政策展開の方向性)

国際水準GAPやHACCP、GI、ヘルシーDoといった認証の普及拡大や道産食品のブランド力の強化に取り組めます。また、世界に通用するワイン産地北海道ワインバレーを目指し、高品質なブドウの育成とワイン生産の支援を加速するとともに、日本酒やウィスキーなどの道産酒のブランド化や生産の振興、道産スイーツの魅力発信に取り組めます。

(参考) 国際水準GAP：農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組、Good Agricultural Practice の略/HACCP：食品の衛生管理手法の一つ、Hazard Analysis and Critical Control Pointの略/GI：産地が特定でき、製品の品質や社会的評価等の確立した特性が当該産品と結び付いていることを特定できる名称の表示のこと、Geographical Indicationsの略/ヘルシーDo：健康食品などに含まれている機能性成分に関し「健康でいられる体づくりに関する科学的な研究」が行われている事実を道が認定する制度

未来が輝く価値づくり ～北海道価値の総合力で世界と勝負～

■ スポーツに挑戦する環境の整備

どさんこアスリートの育成、道民がスポーツに挑戦しやすい環境づくりに取り組みます。

(政策展開の方向性)

冬季オリンピック・パラリンピックの招致や国際的な競技大会に向けて、どさんこアスリートの育成強化を推進するとともに、トップアスリート育成拠点となる総合型ハイパフォーマンスセンターの誘致活動に取り組みます。また、スポーツ合宿の誘致や地域スポーツの活性化に取り組むとともに、パラスポーツの振興やスポーツ医・科学との連携、地域指導者の育成など北海道スポーツみらい会議を中心に誰もがスポーツに親しむことのできる環境づくりに取り組みます。

■ ウポポイへの誘客などアイヌ政策の推進

ウポポイへの誘客促進をはじめ、アイヌの方々の誇りが尊重される共生社会の実現に向けて取り組みます。

(政策展開の方向性)

ウポポイやアイヌ関連施設への国内外からの更なる誘客、歴史や文化への理解促進などに取り組みます。アイヌの方々の誇りが尊重される共生社会の実現に向け、生活の向上、文化の振興、地域・産業・観光の振興、多様な文化との交流促進などに未来志向で取り組んでいきます。

■ 北の文化の魅力発信

知事公館エリアの一体的な活用を検討するとともに、本道の文化・芸術・歴史の魅力の発信や振興に取り組みます。

(政策展開の方向性)

道立近代美術館をはじめとする知事公館エリアの活用構想を策定するなど文化・芸術・歴史の発信拠点としての活用を検討します。また、北海道博物館の更なる活用を図るとともに、縄文文化の保全や研究、誘客、交流などを担う拠点機能の実現に向けて取り組みます。北海道遺産や日本遺産などの本道の歴史や文化の活用、さらには、まんがやアニメなどメディア芸術などの振興に取り組みます。

(参考) ウポポイ：民族共生象徴空間の愛称。2020年7月、白老町ポロト湖畔に誕生したアイヌ文化復興・創造の拠点。アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味する

未来が輝く価値づくり ～北海道価値の総合力で世界と勝負～

■ 北方領土の早期返還と隣接地域の振興

我が国固有の領土である北方四島の一日も早い返還に向け、効果的な啓発活動や隣接地域の振興などに取り組みます。

(政策展開の方向性)

北方領土を取り巻く環境変化を踏まえながら、効果的な啓発活動や全国的な機運の醸成、返還運動の後継者育成、新たな計画に基づく隣接地域振興などを推進するとともに、四島交流や自由訪問事業の再開を国に働きかけます。

未来を支える人材づくり ～人の輝きをもたらす持続的な発展～

本道が持続的に発展していくため、人材不足への対応はもとより、チャレンジマインドを持ち、変化するニーズに対応できる教育・人づくりに取り組みます。また、多様な人材の活躍を支援するとともに、北海道らしい豊かで働きやすい環境づくりに取り組みます。

■ 住みやすく働きやすい北海道の発信

住みやすく働きやすい場所としての魅力を発信するとともに、地域おこし協力隊のインターン制度の活用促進に取り組みます。

(政策展開の方向性)

農林水産業や建設、運輸、観光などの人材の育成や確保に向けて、オール北海道で移住や就労のプロモーションを実施するとともに、地域おこし協力隊のインターン制度を活用し、地域のニーズに応じて働きながら地域を体験する機会の創出に取り組みます。また、地域産業の担い手確保に向けた地域の取組を支援するとともに、北海道型ワーケーションの定着に向けて、道外企業とのマッチングなどに取り組みます。

■ 未来を担う人材の育成

スタートアップに挑戦する環境づくりに取り組むなど本道の未来を担う人材を育成します。

(政策展開の方向性)

スタートアップなど未来に果敢に挑戦する若者を支援します。また、ほっかいどう未来チャレンジ基金などを通じ、海外留学や企業インターンシップなどの挑戦への支援を充実します。時代の変化に対応する専門人材の育成やリスキリングを推進するとともに、地域の特色を生かした職業訓練などに取り組みます。

■ 多様で柔軟な働き方を実現できる職場環境づくり

テレワークの普及や定着を推進するとともに、多様で柔軟な働き方がしやすい環境づくりに取り組みます。

(政策展開の方向性)

テレワークの普及や定着を促進するとともに、労働時間や待遇の改善、子育て・介護と仕事の両立などに取り組む企業を支援するなどワークライフバランスに取り組み、多様で柔軟な働き方がしやすい環境づくりを推進します。

(参考) 地域おこし協力隊：地方自治体が、都市住民を受け入れて委嘱し、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など、「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化につなげる制度／ワーケーション：「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、職場とは異なる場所で、余暇を楽しみつつ、仕事を行うこと／リスキリング：新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキル的大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する・させること

未来を支える人材づくり ～人の輝きをもたらす持続的な発展～

■ 多様な人材の活躍支援

女性や高齢者、障がいのある方の就労を支援するとともに、外国人材の受入を促進します。

(政策展開の方向性)

女性が安心して働き続けられる環境づくりに取り組むとともに、キャリアを活かした高齢者の就労や農業などと連携した障がいのある方の活躍の場の創出を推進します。また、スタートアップビザの取得支援など外国人材の受入を促進するとともに、外国人技能実習制度に地域の実情が反映されるよう国への働きかけを行います。

■ 豊かな学びの推進

時代の変化などに対応する教育を推進するとともに、誰もが学べる環境づくりやいじめ防止に向けて取り組みます。

(政策展開の方向性)

遠隔授業などデジタルを活用した学習環境の充実に取り組み、STEAM教育や国際感覚を培う教育など時代の変化に対応できる力を育成します。また、地学協働の活動を推進し、アイヌの歴史・文化や北方領土などに関するふるさと教育の充実を図るとともに、私学教育の振興や特別支援教育の充実、授業料の負担軽減などに取り組みます。教職員の能力向上や多様な人材の活用と働き方改革などに取り組みます。いじめの早期発見や組織的な対応を徹底するなどいじめ防止に向けた取組を強化します。

(参考) スタートアップビザ：起業準備活動を行う外国人が、一定の要件を満たすことで、起業準備の為に最長1年間の在留資格「特定活動」で在留が許可される制度のこと／STEAM教育：「Science」、「Technology」、「Engineering」、「Art」、「Mathematics」等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育